



日本の農業を切り拓く、農業経営者へ。

# 日本農業経営大学校

## 学校の様子

1年生は7月上旬より全国様々な地域で4カ月間の農業実習に励んでいます。8月に入ると教職員による巡回が始まりますので、学生たちの様子も当メールマガジンにて報告できればと考えています。

2年生は7月中旬に通常講義および特別講義（※詳細は後述）、前期ゼミ等が終了し、7月18日から10月13日までの約3カ月間の企業実習が始まりました。

企業実習に際し、7月12日には「企業実習決意表明」を行いました。学生たちは実習の目的、実習先の選定理由、獲得目標などを発表しました。実習先は、北は北海道、南は佐賀県に広がりました。今年には就農する地域を実習先として選択している学生も目立ちます。就農後も続くつながりを作ることや自分の地域を改めて見つめ直すことも大切なので、この機会にそれらも構築してほしいと思います。

また、実習先の業態は、農産物の流通・販売、イベント企画、地域づくり、グリーンツーリズム、リゾート運営、農産加工、カフェなど多種多様に広がっており、学生たちの関心の広さが反映されています。就農後は異業種での長期実習はなかなか実施できません。この貴重な時間を利用して、人間的にも一回り成長することを期待しています。企業実習が終わると、いよいよ

経営計画の策定に向けて追い込みが始まります。この実習での学びを通じて自身のビジネスモデルを具体的な形に落とし込み、磨きをかけてもらいたいと思います。

なお、2年生の企業実習においても教職員が各社へ巡回訪問いたします。その様子も当メールマガジンにて報告できればと考えています。

## 特別講義の様子

7月4日は株式会社焚火代表取締役佐藤研一さん、7月6日は吉備国際大学地域創成農学部教授谷坂隆俊さんよりご講義いただきました。

7月3日には、神奈川県茅ヶ崎市にある公益財団法人松下政経塾を訪問しました。塾の歴史や精神、人材育成の取り組みについてお話を聞き、加えて「食」をテーマに研究に取り組んでいる塾生の発表も聞き、意見交換を行いました。

当校で実施されている人間力領域の講義「経営者としてのリーダーシップ」は、松下政経塾顧問の古山和宏さんが担当されています。10コマの講義を通じて農業経営者に求められるリーダーシップについて考え、リーダーとなるための普遍的な考え方や哲学を学び、さらに経営計画の土台となる「事業趣意書」を立案し、提出します。学生たちは、古山さんからの厳しくも温か

いコメントやアドバイスをいただきつつ、学生同士の検討会やプレゼンを行い、自分と向き合いながら事業趣意書を完成させました。これまで抱いていた問題意識を文章にまとめることにより、深く掘り下げることができたのではないかと思います。

## 富士登山（有志の学校行事）

7月13日～14日にかけて、有志で富士登山を行いました。天気予報では両日に雨予報が出ており、登山の中止もやむを得ないと覚悟をしておりましたが、何とか雨に当たらずに4時間程で8合目の山小屋（宿泊場所）に到着しました。体力の回復を優先させるため慌ただしく夕食をとり仮眠を取り、23時30分頃に頂上に向けて再出発。1時間程歩いたところで雷鳴が響き待ちました。安全確認がとれたため登山を再開。最後はひとりの脱落者もなく頂上に到達しました。残念ながら太陽が昇る方角に雲がかかっておりご来光を拝むことは叶いませんでしたが、学生たちは思い思いに登頂の喜びを噛みしめていました。



※本誌の無断転用・転載を禁止します。

[発行人] 一般社団法人アグリフューチャージャパン

〒108-0075 東京都港区港南2-10-13 農林中央金庫品川研修センター5階

TEL：03-5781-3750 FAX：03-5781-3752



日本農業経営大学校

Japan Institute of Agricultural Management